

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 2 部門第 7 区分
【発行日】令和 4 年 4 月 19 日(2022.4.19)

【公開番号】特開 2020-152542(P2020-152542A)
【公開日】令和 2 年 9 月 24 日(2020.9.24)
【年通号数】公開・登録公報 2020-039
【出願番号】特願 2019-53522(P2019-53522)
【国際特許分類】

B 6 5 H 3/06(2006.01)

10

B 6 5 H 9/00(2006.01)

【F I】

B 6 5 H 3/06 3 5 0 A

B 6 5 H 9/00 J

【手続補正書】

【提出日】令和 4 年 4 月 11 日(2022.4.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

20

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

媒体搬送方向と直交する方向に間隔を空けて配置され、それぞれ独立に回転して媒体を送る複数の給送ローラと、

媒体搬送方向において前記複数の給送ローラより下流側に且つ媒体搬送方向と直交する方向において中央部に配置され、給送された媒体を検出するセンターセンサと、

媒体搬送方向と直交する方向において前記センターセンサの両側に配置され、それぞれ給送された媒体を検出する複数のサイドセンサと、

30

前記複数のサイドセンサの内の何れかが媒体を検出してから所定時間内に前記センターセンサが媒体を検出しない場合、少なくとも前記センターセンサが媒体を検出するまで前記複数の給送ローラの周速度を相互に異ならせる制御部と、

を有することを特徴とする媒体搬送装置。

【請求項 2】

前記制御部は、前記複数のサイドセンサの内の何れかが媒体を検出してから前記所定時間内に前記センターセンサが媒体を検出しない場合、前記センターセンサが媒体を検出してから特定時間が経過するまで前記複数の給送ローラの周速度を相互に異ならせる、請求項 1 に記載の媒体搬送装置。

【請求項 3】

40

前記制御部は、前記複数のサイドセンサの内の何れかが媒体を検出する前に前記センターセンサが媒体を検出した場合、前記複数の給送ローラの周速度を相互に異ならせない、請求項 1 または 2 に記載の媒体搬送装置。

【請求項 4】

前記センターセンサは、媒体搬送方向と直交する方向において前記複数の給送ローラの外側の端部より内側に配置される、請求項 1 ~ 3 の何れか一項に記載の媒体搬送装置。

【請求項 5】

媒体を撮像する撮像部と、

前記複数の給送ローラにより給送された媒体を前記撮像部に搬送する搬送ローラと、をさらに有し、

50

前記センターセンサ及び前記複数のサイドセンサは、媒体搬送方向において前記搬送ローラより上流側に配置される、請求項 1 ～ 4 の何れか一項に記載の媒体搬送装置。

【請求項 6】

媒体搬送方向と直交する方向に間隔を空けて配置され、それぞれ独立に回転して媒体を送る複数の給送ローラと、媒体搬送方向において前記複数の給送ローラより下流側に且つ媒体搬送方向と直交する方向において中央部に配置され、給送された媒体を検出するセンターセンサと、媒体搬送方向と直交する方向において前記センターセンサの両側に配置され、それぞれ給送された媒体を検出する複数のサイドセンサと、を有する媒体搬送装置の制御方法であって、

前記複数のサイドセンサの内の何れかが媒体を検出してから所定時間内に前記センターセンサが媒体を検出しない場合、少なくとも前記センターセンサが媒体を検出するまで前記複数の給送ローラの周速度を相互に異ならせる、
ことを特徴とする制御方法。

10

【請求項 7】

媒体搬送方向と直交する方向に間隔を空けて配置され、それぞれ独立に回転して媒体を送る複数の給送ローラと、媒体搬送方向において前記複数の給送ローラより下流側に且つ媒体搬送方向と直交する方向において中央部に配置され、給送された媒体を検出するセンターセンサと、媒体搬送方向と直交する方向において前記センターセンサの両側に配置され、それぞれ給送された媒体を検出する複数のサイドセンサと、を有する媒体搬送装置の制御プログラムであって、

20

前記複数のサイドセンサの内の何れかが媒体を検出してから所定時間内に前記センターセンサが媒体を検出しない場合、少なくとも前記センターセンサが媒体を検出するまで前記複数の給送ローラの周速度を相互に異ならせる、
ことを前記媒体搬送装置に実行させることを特徴とする制御プログラム。

30

40

50